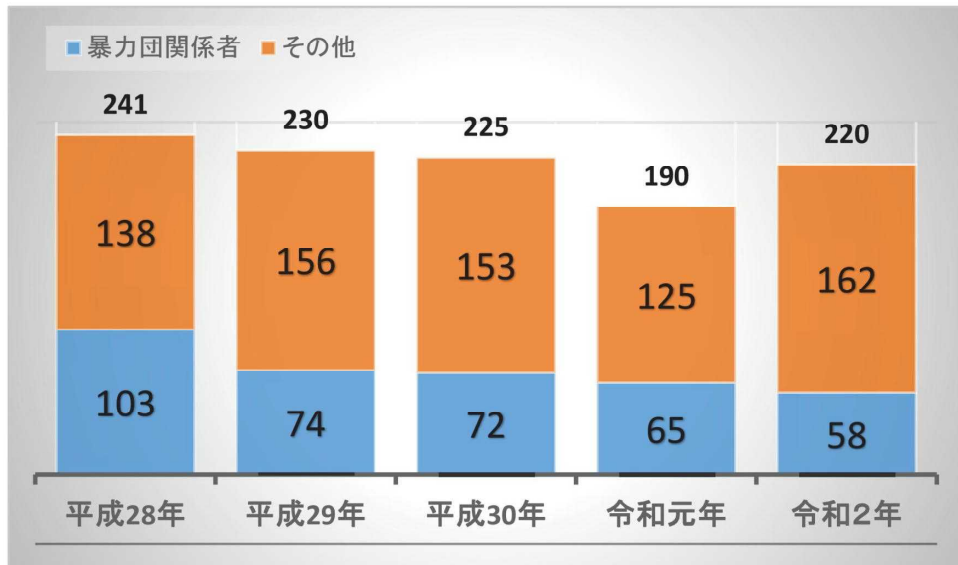


県内の薬物情勢

薬物検挙人員の推移



- 奈良県における薬物事犯の検挙人員は、ここ数年は200人前後で推移しています。
- 令和2年中の薬物事犯の検挙人員は、220人（前年比+30人）であり、男女別では、男性が182人、女性が38人となっています。

令和2年中の薬物事犯検挙状況

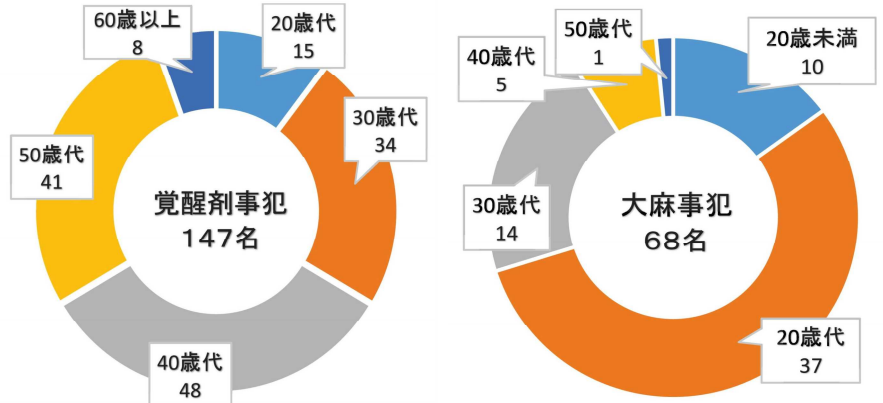
【罪名別検挙状況】

覚醒剤取締法違反	147人
大麻取締法違反	68人
その他	5人

【主な薬物押収量】

覚醒剤	約283g
乾燥大麻	約121g
大麻草	約80本
MDMA	約2,150錠

【年齢層別検挙状況】



- 薬物事犯の約7割が覚醒剤事犯で最も多く、次いで大麻事犯となっています。
- 覚醒剤事犯の約8割が再犯者であり、大麻事犯は約6割が初犯者です。
- 覚醒剤事犯は40歳代が最も多く、30歳代と40歳代で全体の約6割を占めています。
- 大麻事犯は20歳代が最も多く、30歳未満が約7割を占めています。

「1度だけ」という好奇心や遊びのつもりでも、薬物の依存症によって、自分の意思ではやめることができなくなります。

薬物の乱用はあなたとあななの周りの社会をダメにします。

絶対に手を出してはいけません。